

市議会だより



入学式

4月9日(月)市内4中学校で入学式が行われました。

とても制服が似合っています。

(写真:八街中央中学校)

3月定例会

- 提出議案の主な内容…………… 2～3 P
- 委員会審査の主な内容…………… 4 P
- 一般質問(代表4人・個人12人)…… 5～14 P
- 議長・副議長の出席報告等…………… 15 P
- 審議された議案と結果…………… 16 P



ピーちゃん ナツちゃん

主な内容

3月定例会

提出議案の主な内容

平成24年3月定例会は、2月17日に開会され、議案35件(修正議案1件)、発議案1件が提出され審議されました。

平成24年度市政運営方針
(主なもの)

便利で快適な街

- ◆八街バイパスの早期全面開通に向けて努力します。
- ◆住野十字路の右折レーン整備を含む(仮称)酒々井インターチェンジ周辺の渋滞緩和対策について努力します。
- ◆市内道路の破損箇所を改修するなど歩行者や通行車両の安全確保に努めます。
- ◆榎戸駅東口の開設は、利用者の利便性の向上を図るため、早期に実現できるように努めます。

安全で安心な街

- ◆八街幹部交番から八街警察署に昇格して頂くよう要望してまいります。
- ◆住宅リフォーム補助事業、住宅耐震化促進事業を創設します。
- ◆迅速、かつ、的確な消防活動を推進するため消防自動車搭載用受令機及びデジタル簡易型携帯無線機を導入します。
- ◆東日本大震災の経験を踏まえた地域防災計画を作成します。

健康と思いやりにあふれる街

- ◆子宮頸がん予防ワクチンの助成対象は中学一年生から三年生まででしたが高校一年生まで拡大し、接種費用の全額を助成します。
- ◆75歳以上を対象とした高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を一部助成します。
- ◆国保加入者の40歳から74歳までを対象とした人間ドック助成事業を開始します。

豊かな自然と共生する街

- ◆家庭用小型合併処理浄化槽設置に対する補助事業を継続し、道路排水、流末排水の整備推進を図ります。
- ◆大池第三雨水幹線整備工事が四力年の事業としてスタートします。
- ◆心の豊かさを感じる街
- ◆朝陽小学校校舎改築工事に先がけ、実施設計業務、地質調査業務を行います。
- ◆私立幼稚園就園奨励費補助事業、特別支援教育支援員配置事業を引き続き実施します。
- ◆活気に満ちあふれる街
- ◆農産物などの生産地が自ら新たな生産販売戦略を構築・実行します。また高品質、かつ、安定的な生産を図るために必要な機械や施設の導入を支援するための輝け千葉園芸産地整備支援事業を引き続き実施します。
- ◆耕作放棄地の解消を図るための農用地利用集積円滑化事業を新規事業として行います。

議案第2号

市長・副市長・教育長の給与(月額)の減額幅を拡大し、継続します。

市長 ▲8万6千円

副市長 ▲5万4千円

教育長 ▲3万3千500円

議案第4号

一般職の管理職手当について引き続き20%削減します。

議案第5号

東日本大震災からの復興を図ることを目的として平成23年度から平成27年度までの間において緊急に実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、臨時措置として個人市民税の均等割の税率を平成26年度から平成35年度まで引き上げます。

議案第12号

長寿祝金支給事業のお祝い金を次のように改正しました。

- ・満80歳、1万円
- ・満88歳、2万円
- ・満99歳、3万円
- ・満100歳、5万円

市議会政務調査費削減

1人当たり月額30,000円を25,000円に削減 年間予算削減額▲132万円

発議案第1号

八街市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

上記の議案を次のとおり、地方自治法第112条及び八街市議会会議規則第14条の規定により提出いたします。

平成24年3月16日提出

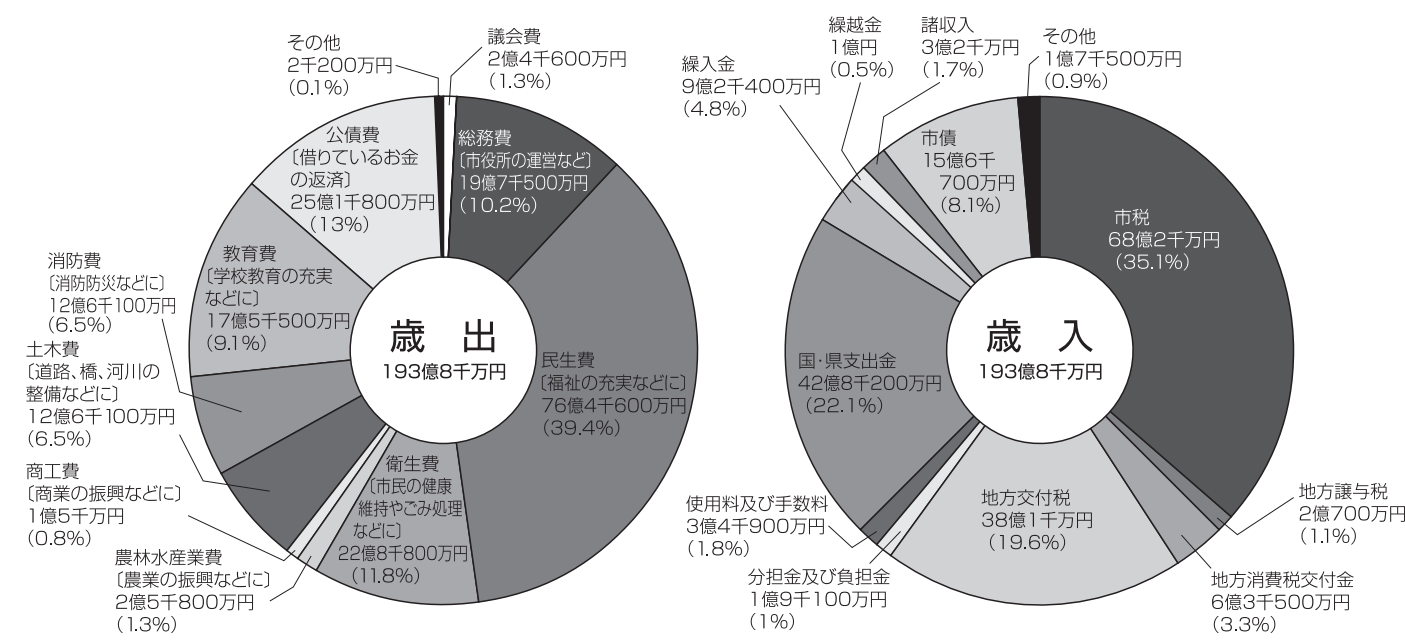
提出者 八街市議会議員 中田 眞司

賛成者 八街市議会議員 新宅 雅子、丸山 わき子、加藤 弘、古場 正春、桜田 秀雄

景気回復の兆しすら見えない状況の下、昨年3月に発生した、東日本大震災により復旧・復興支援が急がれております。未だ立ち直る糸口すら見出せない日本国経済が及ぼす本市財政状況を鑑み、市議会としても政務調査費の削減を行い、ここに発議案として提出するものです。

全員賛成で可決

平成 24 年度一般会計予算



平成 24 年度一般会計予算、討論！ (要約)

反 対 討 論

国民負担増の国の予算のもとで、東日本大震災後初めての予算編成となる八街市の平成 24 年度予算は、大震災の教訓をいかに活かすかが問われるものでございます。

また、大震災以降、南関東の地震活動が活発になっており、専門家は地震発生の確率が高まっていると警鐘を連打しています。大地震発生の切迫性が高まっており、市民の安全・安心の対策を最優先とした予算編成が求められています。残念ながら八街市の防災費は減額予算となっています。こうした切羽詰まった状況を無視した新年度予算は、不急の第三雨水幹線事業を最優先したものとなっています。駅前区画整理事業の一環として、排水事業を進めるものですが、この間の 1 時間当たり 80 ミリ近い降雨量からすれば、計画の 50 ミリ対応では到底施設不足であり、見直しが必要です。この間、八街市は国の強力な大型公共事業推進に後押しされ、市民サービスや福祉を削減し、市民が納めた尊い税金を湯水のごとく投入し、駅前区画整理事業を進めてきました。しかし、うたい文句にしていた、地域が活性化するどころか、駅周辺の商店街はシャッターが下り、まだこの区画整理事業が終了しないうちから土地は売りに出され、駐車場が次々と作られています。また、公共施設用地は、活用もできない状況であり、いかにこの計画が安易なもので、借金の返済に追われるだけの将来性に欠けた街づくりであったことが実証されました。今、進めようとしている不急の第三雨水幹線事業も今後の街づくりに禍根を残す予算編成であることを厳しく指摘せざるを得ません。

賛 成 討 論

厳しい市財政状況の中で、限られた予算をいかに有効に活用するかを念頭に経費全般にわたる節減や既存の施策、事業の見直しに努め、これだけというものには重点的・効果的に予算配分をしています。例えば市民が願う街づくりの中で、市道 116 号線、市道六区 1 号線の道路改良ほか、道路整備事業に 1 千 342 万 1 千円の増額や市民の足となる公共交通対策費に 592 万 4 千円の増額予算を計上しています。また、新規事業として高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成、ひとり暮らし高齢者等訪問業務、住宅リフォーム補助事業費、農用地利用集積円滑化事業、人間ドックの助成、耐震改修費補助金等の予算が計上されています。さらには、長いこと待たされていました朝陽小学校の改修事業費も計上され、平成 24 年から 26 年の計画の中で校舎が改築されることになり、地元のみならず、教育関係者には大きな喜びであります。また、市職員が自分たちでできることは自分たちで、庁舎及び各公共施設の清掃を自ら率先して行ったり、自転車駐輪場の整備にあたるなど、予算削減に努力されていることにつきましては、頭の下がる思いであり、高く評価するものです。市民の安全・安心な暮らし、福祉全般、教育ほか、あらゆる分野にわたって、限られた財源を有効にかつ市民の要求に応えるべく施策が各所に見られます。これらは、北村市長の就任 2 年目にかかる意欲と強力な指導力によるものであり、いまだ不景気な経済状況下、八街北口駅前公共核施設計画等、抱える課題も多くありますが、今後の一層の手腕発揮に期待します。

◆ 平成 24 年度 特別会計 ◆

区 分	平成 24 年度当初予算額①	平成 23 年度当初予算額②	増減額①—②
国民健康保険	88 億 8 千 291 万 3 千円	80 億 7 千 628 万 5 千円	8 億 662 万 8 千円
後期高齢者医療	3 億 7 千 43 万 1 千円	3 億 3 千 770 万 7 千円	3 千 272 万 4 千円
介護保険	31 億 5 千 362 万 1 千円	31 億 5 千 208 万 6 千円	153 万 5 千円
学校給食センター事業	6 億 8 千 546 万 7 千円	7 億 81 万 9 千円	△1 千 535 万 2 千円
下水道事業	13 億 8 千 182 万 8 千円	9 億 4 千 829 万 4 千円	4 億 3 千 353 万 4 千円
水道事業	20 億 5 千 916 万 9 千円	19 億 4 千 268 万 2 千円	1 億 1 千 648 万 7 千円

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。
3月定例会の一般質問は、2月22日(水)、23日(木)、24日(金)の3日間に16名の議員が質問しました。
(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)

代表質問

新年度予算案と放射線対策、 新学習指導要領を問う

公明党 川上 雄次



問 市長の掲げる「活力と希望あふれる八街」へ向けて、新年度予算はどのような編成方針で望まれたか伺う。

市長 平成24年度の予算編成の基本的な考え方としては「八街市総合計画2005第2次基本計画との整合」と八街市行財政改革プランを踏まえた「行財政改革の確実な取り組み」予算編成通知や予算要求要領に基づく「予算要求基準」、また、原則として補正予算を認めない「年間予算の編成」、国・県の動向や情報を注視した「国・県制度に基づく予算要求」、自主財源をはじめとする「財源の積極的な確保」、経営の合理化と経費の節減に努めた「特別会計の財政運営」を掲げて予算全般について、限られた財源を重点的、効果的に配分する施策精選型の財政運営と歳入に見合った規模の通年型予算を編成いたしました。

問 新規事業と重点施策についてはどのような取り組みがあったのか。

市長 新規事業と重点施策については、消防団や消防自動車

に対して、通信設備のデジタル化を図り、地域防災計画の見直しも行います。また高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を助成する事業を実施します。

また、私立保育園の施設整備に要する費用の一部を補助することや健康保持増進を図るため、人間ドックの助成制度を実施します。住宅リフォーム工事に対する補助事業は平成24年度から3年間実施します。

朝陽小学校改築工事に伴う実施設計業務等を実施し、平成25年度からの工事に備えています。

問 厳しい財政の中で、成果を上げるゼロ予算事業の理念を取り入れ、市民サービスを充実させられないか伺う。

市長 ゼロ予算事業は、予算措置をすることなく、創意工夫で技術・知識・資産・情報の最大限の活用や市民との協働・連携により市民サービスの一層の向上を図る事業と認識しております。厳しい財政状況の中、積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。

問 本格的な高齢社会を目前に控え見守り体制の充実策について伺う。

市長 ひとり暮らし高齢者につきましては、現在行っている事業とあわせ、高齢者が安全で安心した生活を送り続けることができる訪問、見守り制度の構築を進めてまいります。

問 福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線量の測定について、観測体制や監視態勢、市内外への広報活動の強化策を伺う。

市長 観測体制としては、小中学校などの教育関係各施設は毎日教職員により測定を実施しております。また、市内全域で62施設122か所の測定結果をホームページ、広報紙に掲載しております。62施設以外の場所におきましても、要望があった場合には、担当課職員により測定を実施しております。

問 市の新学習指導要領について、本年度本格施行となる中学校での取り組み体制を伺う。

教育次長 平成24年度の新

学習指導要領完全実施に伴い、各中学校においては「授業改善プラン」を立案し、各中学校区の小中連携においては学習内容のつながりを意識した合同研修会も行っております。教育委員会といたしましては、今後とも研修会の開催、学校訪問の実施、新しい学習内容に応じた条件整備など、質の高い授業、教育の推進に努めてまいります。

問 中学校での、武道必修化への取り組みと安全対策は如何か。

教育次長 各中学校においては、4校とも単元を柔道に定め、指導計画の再編を行っているところとす。備品調査を行い、安全に留意した適切な学習が実施されるように、また武道必修化に伴う研修会を市内各中学校保健体育科教員全員を対象に実施いたします。体育における学校事故では、柔道によるものの割合が一番高く、かつ生命に関わる甚大な事故につながる危険性があることに對して、注意喚起及び安全指導を徹底すること。そのため柔道の専門家による実技研修も行ってまいります。

代表質問

ふれあいバス運行時間の
見直しを!!

やちまた 21 林 政男



ふれあいバス

問

ダイヤ改正後の乗降客数の推移と運行時間等の見直しにより増便出来ないか。

市長

乗降客数の推移は、平成17年

度をピークに毎年下降状況にありましたが、昨年9月1日の改正前後の状況では5コースすべてについて、4月から8月までの5か月の乗車人員は5万34人で、1カ月平均1万7人でした。また、9月から1月までの5か月間の乗車人員は4万5千954人で、1か月平均9千191人であり、改正前後の1か月平均の差は816人で8.2%の減少となっており、減少幅の拡大は事実と受け止めています。

昨年9月のダイヤ等の改正では、街コースの新設等により、増便を図ったところであり、バスの安全運行を考慮しますと、これ以上の増便は困難と考えています。なお、平成24年度中に市民の皆様の意見を踏まえ、運行時刻やバスの接続等について一部ダイヤ等の見直しを行いたいと考えています。

商標登録権の運用

問

ピーちゃんナッツやんの商標管理と、これに対しての無断使用に対してどのような措置を取るのか。

市長

本市のイメージである「ピーちゃん・ナッツちゃん」は、平成元年度に国の施策により実施された「自ら考え自ら行う地域づくり事業」、いわゆる「ふるさと創生1億円事業」の一環として、当時本市で実施した「やちまたをPRする事業」の中で創作されたものですが、これまでは製作者側に著作権が帰属してあったので、市が行うPR活動に関してのみに使



用を限定し活用していました。現在、新規商標登録に関する手続きを行っており、今年度中には、商標として登録される予定です。

「ピーちゃん・ナッツちゃん」は、基本的に市をPRする1つの手段として活用し、商標登録が完了した後は、使用管理規定等を制定したいと考えており、市のPRや産業振興に資するもの以外で営利目的などの場合は、使用料を徴収するなど検討したいと考えています。なお、現在はキャラクターを使用したい団体が、市に使用承諾申請書を提出し、営利目的ではなく、市のPR活動に資するものと認められる場合に使用を承認しています。

現在は無断使用に対し

て、特にパナルティー等を設定している規定はありませんが、今後、使用管理規定等を制定していく中で検討したいと考えています。

北総中央用水事業活用による地域防災

問

北総中央用水の消防水利協議の進展状況について伺う。

市長

防火用水利用は、現在、国営北総中央水利事業所において、北総中央用水土地改良区や市消防部局等との協定先機関の検討、また、排泥口の蓋を開閉するための鍵の支給個数など地域用水協定の締結に向け、各市と最後の調整・検討を行っています。

市としても、協定締結後

企業誘致

問

開発負担金が指導要綱から廃止されると聞いているがどのようにしているのか。また、廃止に伴う既存分はどのような取り扱いになるのか伺う。

市長

現在、八街市開発事業指導要綱に記載されている公共施設寄附金は、開発を取り巻く社会情勢も変化し、開発事業者の費用負担能力も低下する一方、良質かつ低廉な住宅・宅地等の円滑な供給を図る必要があることから、平成24年4月1日より廃止します。なお、この改正前に指導要綱の規定による事前協議がなされているものは、改正前の規定が適用するものとなっています。

は速やかに関係区消防団との立ち会いにより、試験放水等実施する予定です。

今後、北総中央用水が火災の際に、防火用水としての機能を十分発揮できるよう一日も早い協定の締結に向け、引き続き関係機関に対し要望したいと考えています。

代表質問

税金の使い方を切りかえて、
市民の暮らし応援の市政に

日本共産党 京増 藤江



■新年度予算

問

市長の政治姿勢について伺う。

平成24年度予算も基金からの繰り入れ、市債の増で組まれ、目先のやり繰りに追われている。

市財政が困難に陥った原因は、三位一体改革により、地方自治体の負担が増え、市税収も伸び悩む中、八街市ではこの間クリーンセンター建設事業や八街駅北側区画整理事業等の大型公共事業が「市民にとってどれだけ必要なのか」、「活性化につながるのか」などが十分検証されずに進められ、市財政がゆがめられてきた。市財政がひっ迫する中、今度は第三雨水幹線事業を実施しようとしている。財政が大変だからこそ税金の使い方を切りかえるべきである。この事業に緊急性があるのか伺う。

市長

大池排水区では1時間当たり25ミリ以上の雨により道路が冠水する場所が4か所ある。特に、東小付近の通学路、太陽団地の冠水対

策が早期に求められています。

再質問

この事業は1時間当たり

50ミリの雨に対応するが、昨今の80ミリの雨に対応できず、将来性があるのか疑問である。東小学校领导の冠水対策は急ぐべきだが、当面、学校敷地内での処理、周辺での調整池の整備などで対応できるのではないか。太陽団地については、以前から対策を求め、前市長が冠水対策を実施したが十分な対策ではなく、団地の上流には家が増えている。また、冠水場所の一区火の見周辺には新たにお店や家ができたが、排水対策をしっかりとめたのか。それらのことも含めて街づくりの計画はどうなっているのか。第三雨水幹線事業を進めるために、今までの冠水対策は十分でなかった部分もあるのではないかと。

建設部長

雨水幹線事業費は

かさむが、太陽団地の排水処理ができる。また、上流の八街学園の隣に調整池をつくり冠水を軽減します。

■いのちを守る国保に

問

平成24年1月31日現在、短期保険証、資格証明書交付世帯は合わせて2千643世帯。

滞納世帯に対し「限度額適用認定書」を発行していない。発行を求めるがどうか。また、「資格証明書」の交付廃止を求めるがどうか。

市長

本市独自のサービスではないため、法の改正がない限り廃止、見直しはできません。

■市民サービスの向上を

問

窓口でのワンストップサービスの実施について伺う。役所の窓口で必要な手続が一遍に終わらないという苦情があり、窓口ワンストップの実施を早急に求めるがどうか。

市長

先進事例の調査など、今後さらに研究を行う必要がある。今後も来庁された市民の方々が負担を感じることなく手続が終了できるよう、職員間での連携・協力の徹底を図り、市民サ

ビス向上に努めてまいります。

■農業・商工業応援で
活気ある八街に

問

経済活性化のため農業対策の強化が必要である。国は、新規農業をめざす45歳以下の青年に年間150万円を給付する事業を開始する。この事業も利用して後継者対策の充実を求めるがどうか。また、農産物の販売強化に加え、落花生豆腐やニンジンジュースやジャム、八街産の小麦を原料にしたパンを給食に提供するなど、農産物に付加価値を付ける努力がされている。これらの生産の拡大を図りつつ、健康食品としても注目されているショウガなども加工の品目として研究してはどうか。

市長

市では従来から農業経営の安定化のための支援をしているが、国が新たに実施する事業を活用し、新規就農者に対する支援も実施する。また、本市の小麦を学校給食用小麦に提供できるよう取り組んでおり、平成24年12月頃から提供できる見込みである。本市特産物を使っ

た商品開発について、今後とも関係機関と連携して新しい名産づくりに取り組みたい。

問

「住宅リフォーム助成制度」を創設するが、総額300万円、助成額10万円、30件の予算措置で経済活性化を期待できる額か。また、希望者が多い場合は増額するのか伺う。

市長

平成24年6月1日から、市内業者に住宅の修理等のリフォームを依頼した場合、費用の一部を助成します。

問

日本経済を奈落の底に突き落とす消費増税を進める野田内閣に対し、「税と社会保障の一体改革」を推進しないよう国に要求するよう求めるがどうか。

市長

改革を推進しないよう国に要求することは致しませんが、今後の動向を注視する中で、必要と判断した場合は、市長会などを通して訴えていきたい。



代表質問

歳入確保、歳出抑制と防災拠点、
特別支援学校誘致について問う

誠和会 山口 孝弘



財政健全化

問

今後、朝陽小学校の校舍改築や大池第三雨水幹線事業、榎戸駅東口開設など、大きな事業が続くこともあり、八街市の将来的な財政事情に対し、今やらなければならぬことは一体何なのか、しっかりと見定めなければならぬ。そこで、今後の財政の見通しと歳入の確保、歳出の抑制について伺う。

市長

一般会計における財政の見通しは、平成24年度から平成28年度までの財源不足分、39億2千588万3千円と推計しています。この財源不足に対する財源確保は、景気低迷の影響を受け、市税の増加が見込めない中、財政調整基金をはじめとする各種基金の活用、市債の有効活用、自主財源の創出を図る一方、歳出も、早急な事務事業の総点検が必要であり、事業の見直しや創意工夫による財源の捻出等歳出の抑制を行います。

地域防災

問

東日本大震災から早1年が経とうとしています。八街市は丈夫な

地盤が功を奏し、比較的被害は少なかったものの停電や漏水、建物の破損などが報告されている。今後、4年以内に70パーセントの確率で、直下型地震が発生すると予想されている現状において、来る大震災に備え、八街市と市民が共に何ができるのか確立しなければならぬ。そこで、今後の八街市地域防災計画見直しについて伺う。

市長

地域防災計画は、先の見直しから相当の期間が経過しているの、見直しの必要性があります。見直し作業は、県の地域防災計画の見直し完了が本年秋頃と聞いているので、整合性を図りながら進め、地域防災有識者会議の意見等を踏まえ実施します。

再質問

1年経つと、次第に防災意識が薄れてきている。千葉県の地域防災計画が秋頃に行われる。今から各区や、そして団体、消防団等、秋までに意見を集約する必要があるのではないかと。

総務部長

計画づくりにあたり、広く意見を求めるといことは当然必要です。特に消防団の役割、

消防団との連携の重要さを、東日本大震災でも改めて証明をされた認識をしています。これらのことも踏まえ市の地域防災計画づくりを考えていきます。既に防災担当には、私の方から指示をしています。

再質問

千葉県では総合防災拠点について騒がれている。今後の千葉県内における八街市の役割という意味でも、千葉県の施設を受け入れる体制や施設を積極的に推進していただきたいと思うが伺う。

市長

八街市の地盤のよさや立地条件については、千葉県も当然承知しているものと考えています。県から要請があれば、前向きに対応します。

特別支援教育

関係機関による一貫した支援を行う上で、本人に関する詳細かつ正確な情報が保護者から支援者等へ伝わる必要があり、全国の自治体で導入されているのが、「サポートファイル」です。そこで、八街市でも特別支援の充実のため、導入を求めるが伺う。

教育次長

現在、サポートファイルの必要性を受けて、健康管理課、福祉課、児童家庭課等、関係各課で、導入に向けた具体的な協議を進めています。

問

千葉県では、千葉県内特別支援学校の児童・生徒の過密化の問題を解消するため、また、長時間通学を解消するため、県立特別支援学校整備計画の素案を作成し、協議している。

特に、八街市内の子どもたちが多く通っている富里特別支援学校では、千葉県内でもナンバー1の過密化という問題を抱えており、定員150名にに対し、約250名が在籍しております。そのうち、約100名の生徒が八街市の児童・生徒です。また、八街市在住の児童・生徒のスクールバスによる長時間通学の問題についても、無視できない問題であり是非とも八街に誘致していただきたいという声を多数お聞きしているが、八街市として特別支援学校の誘致についての考えを伺う。

市長

特別支援学校の必要性・重要性は、十分認識していると

ころですので、今後、県の整備計画等を踏まえた中で、必要に応じた誘致活動を八街市選出の山本県議と連絡を取り合いながら、実施活動をしていと思っています。

問

朝日区の市道7号線、40号線は、ある程度の改善・改修の方向を立てるという回答ですが、どの程度の工事内容か伺う。

建設部長

朝日区の7号線については、まずは蓋の上に堆積している土砂の撤去を実施します。また、朝日区の40号線は部分的に舗装を広げるなどの工事を実施します。

問

遊休農地がなるべく発生しないための後継者問題、あるいは農業活性化に対しての考えを伺う。

経済環境部長

今回、農地利用促進奨励金制度、農地利用促進費助成金制度の新設平成24年度予算に計上しました。本来の市独自で、この施策を作り、規模拡大農家、あるいは新規就農農家、新規就農者の支援に役立てたいと思います。

個人質問

安全・安心に向け、対策・対応を常に心がけよう

やちまた21

加藤 弘



商店街の活性化

問 商店街の活性化について伺う。

市長 商工会議所の活動を支援し、中心市街地の活性化に向けた事業に取り組んでいます。

問 産業まつりの目的と会場選択について伺う。

市長 生産者、消費者との相互理解を深め、産業振興を図ることを目的として開催し、会場は、出店を希望される方の数、来場される方の利便性や駐車場の確保などを考慮しています。

防災問題

問 市民の防災訓練、避難訓練の実施状況について伺う。

市長 市民の皆様が参加する防災訓練としては、二区、三区、四区、五区、大関区、大東区、東吉田区、泉台区、みどり台区、真井原区、榎戸

区、富山区で、炊き出しや消火訓練、地震体験車の体験などが、区民の協力により行われました。

問 防災倉庫に簡易トイレ設置について伺う。

市長 防災備蓄倉庫及び資機材を整備する際には、災害用簡易トイレを含め、緊急時にどのような資機材が必要かさらに検討したいと考えています。

問 災害時の自治体間支援体制確立について伺う。

市長 県内の市町村は、被災市町村のみでは十分な応急対策等ができない場合に、市町村相互の応援が、迅速かつ円滑に実施されるよう相互応援に関する基本協定を締結しています。また、県では、首都圏を構成する千葉県、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉市、横浜市、川崎市、さいたま市及び相模原市と九都県市災害時相互応援に関する協定を平成22年4月1日に締結していますが、本市と独自の災害協定

問 防災、災害後方支援に「防災バス」の設置について伺う。

市長 財政状況や防災バスの維持管理費等を考慮しますと、導入は大変難しいと考えています。

国民健康保険

問 過年度、現年度分税徴収状況を伺う。

市長 本市の保険税収納率は低く、県内最下位です。そのため、被保険者間の公平負担の原則のもと、収納率の向上を図ることにより、国民健康保険制度の安定運営を目指すことが重要な課題となっています。

※その他の質問

◆ジェネリック医薬品の使用状況

◆市内医師会への国保会計状況の説明

◆ロングスパン教育

◆生きてはたらく真の学力

◆図書館開館時間

◆幼稚園の空き状況と保育園の待機状況

個人質問

市民の安全・安心を守る防災対策を

日本共産党

丸山

わき子



防災対策について

問 市民参加の防災計画について伺う。

市長 画づくりに関しては、市は防災計画の見直しにあたり、新年度予算で825万円を計上し、業者委託をしようとしているが、この間、265万円でハザードマップなど業者に委託し作成をしたが、市民からハザードマップの誤りが指摘されたり、260万円で委託した国民保護計画も、「核ミサイルが着弾したら、地下街など地下施設に避難する」あるいは「船ダムへの攻撃」など八街には無い施設の内容をもちこんだ計画書ができ上がっており、大変お粗末なものと

なっている。何よりもムダ遣いの典型であり、財政難のもとで、同じ轍をふむべきではない。県の地域防災計画の原案を参考にすれば、庁舎内でも十分見直し作業はできる。市民・専門家の意見を反映させた計画づくりを求めるが如何か。

市長 早期見直しのため委託をする。

問 近い将来「大地震」と指摘されている中で、新年度の防災予算を減らすことは大変問題である。県の地震防災戦略の中では、八街市が最も影響を受ける可能性は東京湾北部地震で、震災後の避難者と帰宅困難者は約2万4千人としている。この数字から、現状の非常食、備蓄用資機材は到底足りない。予算を増やし十分な備蓄を求めるが如何か。

市長 震災の教訓をともに災害時に特に必要とされるものを十分検討し、整備してまいりたい。

問 八街市は平成27年度までに、住宅の耐震化目標を1千300戸とし、平成24年度は耐震化改修補助金10件分・上限30万円を予算化した。この程度の予算確保では、到底追いつかない。抜本的な強化

市長 JR千葉支社と平成24年度内に協定を締結し進めていく。ホームの屋根は協議、検討したい。東口整備は、送迎の車両が停車できるスペースを検討したい。

問 改修のスケジュール。また、雨の日の対策としてホームの屋根は切実である。9月議会で設置の考えはない」という答弁だが、駅改修と一体化させ、屋根の延長設置を求めるが如何か。さらに、雨の日の西口は、車による送迎で混雑し、大変危険な状況であり、また、新たに計画されている東口についても、整備が必要であるが如何か。

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

市長

個人質問

安心して利用できる介護保険制度とまちづくりを

日本共産党

石山 正美



第5期
介護保険制度について

問 介護保険制度ができて11年。社会保障費削減路線のもと、負担増やサービス切り捨てなどの改善が繰り返されてきた結果、制度の矛盾が出ている。第5期制度の実施にあたり、保険料の引き上げは、高齢者の生活を一層悪化させるものであり、保険料・利用料の軽減を求めるが如何か。

市長 保険料は本市の減免取扱い基準に従い、利用料は国の制度に準じた軽減措置を実施していきたい。

問 地域包括センターの取り組みと一人暮らし・高齢者世帯の支援、認知症やその介護対策、また、特別養護老人ホームの増床計画を伺う。

市長 他と連携を図りながら広く高齢者の支援に取り組むたい。認知症は予防法が確立

しておらず、医療のみならず、介護・福祉による対応が必要であると認識している。特別養護老人ホームは1施設80床を計画している。

放射能対策について

問 福島原発事故から1年。大気や海洋に大量の放射性物質が放出され、空気や食物等を通じての被害を食い止める必要がある。安全な給食を確保するための対策を伺う。

教育次長

給食の食材は厳しい規制値をパスし、安全な物だけを使用しています。調理の際には食材の洗浄を十分行うよう努めています。

問 日本共産党は独自に市内73か所で測定をしているが、新たに測定器を購入し、市民への貸し出しを求めるが如何か。

市長 市民の要望には職員が出向き、各家庭への貸し出しは考えていません。

問 測定箇所を増やす考えは如何か。

市長 計62施設122か所を定期的に測定しています。

公共交通について

問 ふれあいバスは乗客が大変減少している。公共交通について懇談会の常設を望むが如何か。

市長 駅、市役所、病院に直接行けるよう早期に見直し、またデマンド交通への意見にたいし平成24年度中には協議会等を立ち上げたい。

問 乗合タクシーの一日も早い実施が望まれる。試験運転を望むが如何か。

市長 協議会等において、採算性を考慮の上、慎重な議論と実証運行について検討したい。



個人質問

「空き家等の適正な管理に関する条例」の制定を！

桜田 秀雄



安全なまちづくり

問 火災残存家屋の処置について伺う。

市長 長期間放置され建物が倒壊し、人災や隣接住宅に被害を及ぼす恐れもあることから所有者に早期撤去を文書等で依頼し、火災現場にも同様な表示板を掲示して2か所で解決した事例があります。近隣住民の不安を解消できるよう、改めて強く働きかけをしていきます。

問 空き家等の適正な管理を義務づける条例の制定について伺う。

市長 市には良好な生活環境の確保などのために「空き地の管理の適正化に関する条例」があるので「空き家」に関する規定を加える方法もあるが、建物は個人財産であることから慎重に対応する必要があります。県内では松戸市や勝浦市などで、行政処分や罰則を含めた条例を制定しているので、近隣

活力あるまちづくり

問 審議会等【行政委員会5機関、委員数36名。その他、審議・調査等を行なう機関、31機関、355名】の公募委員拡大について伺う。

市長 市民の参画は大変意義のあることです。それぞれの審議会等で委員を選出する際に、公募採用の可否、手法などを検討してまいります。

道路事業について

問 朝日区内の舗装整備が立ち遅れている。市道の舗装率を伺う。

市長 八街市が認定している市道は1千126路線で491km、舗装率は86.5%です。朝日区内の舗装率は実延長35.3km、62.3%です。

問 朝日35号線の舗装整備計画を伺う。

市長 路線延長852mのうち、420mが未舗装です。舗装するには、雨水排水の処理を一緒に行なう必要があるが、付近に接続できる排水施設がないので、舗装は難しいと考えています。

問 四区20号線（実住小学校西側）の舗装整備計画を伺う。

市長 路線延長約104m未舗装です。境界が確定していない箇所もあり、雨水排水の処理方法も含め、慎重に検討します。

問 市道三区43号線、六区8号線（わかば団地内）排水側溝の整備計画を伺う。

市長 平成24年度の事業の中で、側溝等の整備を予定しており、道路冠水の解消に向け努力します。

※その他の質問

◆「森のいずみ公園」の適正な管理
◆放射能測定器の貸出

個人質問

市民が関心を寄せる赤道の取り扱いについて

誠和会

小高 良則



一人ひとりを大切にした夢あるまちのために

個人質問

誠和会

林 修三



公共財産の取り扱い

赤道の有効箇所の復元整備活用について

問

市長

赤道は、地方分権一括法により国から無償譲与された道路法の適用のない法定外公物で、本市が財産管理及び機能管理を行っています。

農業用道路や生活道路として、人や軽車両程度が通行できる箇所もありますが、その機能を有しない箇所も多数あります。市では、区等からの要望に応じ、調査等を行った上で、市民生活に必要性のある赤道については活用について検討し、必要に応じた整備を行いたいと考えています。

朝陽小学校校舎改築工事

問

児童クラブは、児童の移動の安全性と現在のスペースの狭さを考えるのが望ましいと考えますが、設置の考えについて伺

う。

市長

朝陽小学校の児童クラブは、現在、旧教職員住宅2棟を使用し、定員60名で開設しています。しかし、入所希望が多く、いまだに待機児童がいる状況となっています。このため、教育委員会と検討したところ、改築に

合わせて、学校校舎内及び敷地内に開設することは難しいことから、現児童クラブに隣接している旧職員住宅の利用について協議が整い、本年7月に開設できるよう準備を進めています。

道路問題

問

市道一区50号線の拡幅について伺う。

市長

市道一区50号線については、特に、通勤・通学時間帯の交通量が多く幅員が狭いため、拡幅の必要性は、認識

しています。しかし、道路拡幅には多額の費用がかかることから本市の財政状況を考えると一度に複数の道路

拡幅事業を実施することは、困難な状況ですので、現在進めている市道四木28号線道路拡幅事業が完了した後、財政状況を考慮しつつ、検討したいと考えています。

教育問題

問

八街っ子サポーターについて伺う。

教育次長

子ども達の学習、生活面での支援体制の充実を図るため、八街っ子サポーターの配置を進めています。八街っ子サポーターは、幼稚園や学校という教育機

関での勤務となるため、業務内容を十分に理解の上教職員を補助し、子ども達の望ましい学習や生活習慣の確立を支援できることが求められます。雇用希望者との面談を十分にを行い、八街っ子サポーターの雇用にあたります。

※その他の質問

◆四区市営住宅跡地

◆庁舎整備◆バイパス整備

◆ふれあいバス◆榎戸駅

子ども達を大切に作る街づくり

問

今学校では、英語を教えている訳ですし、小学校でも英語が教科に入ってきています。ALT

だけでは足りない、もっとプラスになる形のもの、これが英語圏の姉妹都市交流だと考えます。金をかけずともどこかを見つけて20周年記念で締結するところまで持っていくかと思いますが、国際理解教育(国際交流)の振興について伺う。

市長

八街市は、国漕坊市と交流文化を目的とした友好協力関係を築くための覚書を締結し、友好関係都市となっています。

子ども達の国際理解教育については、主に英語圏となりますが、市内に4人のALTを配置し、小中学生との授業などを通じた交流を行うことで、異文化と触れ合う貴重な経験となっていると考えています。

誠和会

林 修三



国際交流の重要性は、理解できませんが、現時点での欧米の国と新たな国際交流を行うことは、難しいものと考えています。

活力のある農業づくり

問

八街市は、農業を基幹産業として取り組んでおり、農業への振興策として更なるテコ入れが必要と思いますが、八街農産物促進のための商品開発についての取り組みを伺う。

JA いんばが販売しているフルーツアンドキャロットについては、市内外で開催される各種イベントにおいて、PRしています。また、平成22年度には、市内の落花生加工業者が、ちば農商工連携基金助成事業による「落花生豆腐の素」の開発に取り組んでいるほか、NPO法人が主催する「地域農産物を使ったジャムのブランド化研究会」において、ニンジンを使ったジャムの

安心な道路づくり

問

アウトレット開設に伴う住野周辺の24年度環境整備について伺う。

市長

アウトレット開業に伴い、市道住野14号線の一部区間において、平成24年度に道路拡幅工事を実施します。また、アクセス道路となる市道住野3号線や201号線の整備は、アウトレット開業後の交通状況を把握した上で、検討します。

※その他の質問

◆八街総合計画2005及び次世代育成行動計画

◆ふるさと農園活動

◆中学校の学習体制と幼小中連携教育

防災士制度を活用した防災力の強化 子ども達のための交通安全対策について

個人質問

「防災力の強化について」

大規模な災害に備えて、他県、他市の自治体や他団体と災害時相互応援協定を結ぶ考えは。

市長

災害時にも相互支援できる自治体について検討します。

問

地震や災害等の発生時に避難所情報や避難勧告・避難指示を一斉送信する緊急速報エリアメールを導入する考えは。

市長

防災メールの検討とあわせて調査します。

問

学校、家庭、地域社会、市町村と連携した災害に強い学校づくりの為に、学校ごとに危機管理マニュアルを作成するなどの防災教育の指針を作成する考えは。

教育次長

東日本大震災を教訓とし、各学校では、何よりも「自分の命は自分で守る」という自覚を持って行動できる児童・生徒の育成のた

誠和会

石井 孝昭



め防災教育の充実に努めます。災害が大規模な場合には、行政機関も被災するため、初動の救助・救出、消火活動等が制限され、限界があります。震災を教訓に、自助・公助・共助の活動を災害発生時に実践する人材を育成するために「防災士」制度を市職員等に導入しては。

問

平成25年度に防災士制度を活用した予算措置をして、防災士の資格を持つ職員を登用する考えです。

市長

環境問題について

東日本大震災により、東北3県で発生した災害廃棄物の当市の受け入れ体制は。

市長

現状での受け入れは困難と考えています。

問

交通安全対策について

問

当市の車歩道の整備状況と交通事故等の実態と現状は。

市長

佐倉警察署管内における昨年1月から12月までの事故発生状況は、人と車両の事故件数は182件、うち61件は横断歩道で発生しています。現在は市道四木28号線の拡幅・片側歩道整備を進めています。

問

自転車安全教室の各小・中学校での実施状況は。

市長

子ども達の交通安全教室は、毎年4月から5月に交通安全指導員及び警察官の指導のもと、職員がすべての小・中学校で交通安全教室を実施しています。

※その他の質問

◆国民健康保険運営

過去3年の収支状況と収納率の今後の見通し

資格証明書交付後の対応

・国保法第44条の取り組み

・国保関係基金の推移と今後の見通し

・資産割

◆平成24年度の道路整備状況

個人質問

安全で親しみやすい街づくりについて

「交通安全について」

坂江公民館付近の通学路の危険な横断歩道の押しボタン式信号機

の設置について伺う。

市長

押しボタン式信号機の設置については、通常の定周期式信号と同様に千葉県公安委員会が設置することから、地域の総意とともに交通安全情をかんがみ、佐倉警察署に要望しているところで

問

す。なお、主要地方道千葉八街横芝線の坂江公民館付近にあります既設の横断歩道にも信号機はなく、現状の交通量等では危険がある

市長

と考えることから、新規に信号機を設置していただ

るように佐倉警察へ要望したいと考えています。

「防災について」

小中学校において八街で想定される災害とは何か。想定外を作らないハザードマップ作りは出来ているか。また、その

問

八街で想定される災害とは何か。想定外を作らないハザードマップ作りは出来ているか。また、その

問

八街で想定される災害とは何か。想定外を作らないハザードマップ作りは出来ているか。また、その

誠和会

木村 利晴



配付状況を伺う。

教育次長

学校では、ハザードマップではなく、県教育委員会の進める「ちばっ子地域安全マップ」づくりを行っており、子ども自らが地域の危険な場所等はどこかを考え、友達と話し合

市長

ながら作成されております。マップ作成を指導する中で、子ども達の「危険予測能力」や「危険回避能力」を高めることをねらいとしています。

問

子ども達に災害教育をされている指導教員の方達の教育と子ども達の指導は、どのようにあ

市長

たっているのか伺う。

教育次長

各学校に防災教育の中心的役割を担う安全主任がおり、4月に県教育委員会が行う「安全主任研究協議会」に必ず参加し、「実践的な防災授業推進のための教員及び管理職研修会」や「地域・学校防災教育セミナー」等参加し、各学校に伝

再質問

精神疾患ではない休職職員はいるのか伺う。

学校教育課長

八街市内では、精神疾患と外科的病気休職以外い

青少年健全育成条例を！

個人質問

【青少年健全育成の推進】

問 家庭・地域・学校での推進と問題点について伺う。

教育次長

青少年を取り巻く環境は、暮らしが豊かになる一方で、核家族化や少子化の進展、インターネットなどのメディアからの情報の氾濫等により、青少年の健全育成はますます重要な課題となっています。教育委員会では、青少年健全育成事業として、子ども達の社会性・自主性・協調性を育む「通学合宿」や年齢の異なる子ども同士や、地域の大人達と交流する「放課後子ども教室」などを展開しているほか、市内小中高등학교と警察、補導員、青少年相談員、主任児童委員などとの連絡会議や校外指導を実施し、問題行動の未然防止に取り組んでいる。また「八街つ子サポート連絡協議会」を4月から発足し、学校・家庭・地域が連携し、

誠和会

小山 栄治



各地区が共通理解のもとで共通行動を起こし、地域ぐるみで青少年健全育成を図るものです。主な活動内容として、「声かけ運動」や「児童・生徒の見守り活動」などです。

再質問

小中学生の携帯電話による、いじめや不良サイトへの問題は起きていないか。

教育次長

携帯電話のメールに悪口を書かれ、そのメールを広められ、無断に個人情報などを広めてしまった事案が本市でもあったと聞いている。同様の事案発生を未然に防ぐためにも、全生徒への情報モラル教育を実施しています

再質問

小中学生の警察での補導が、最近増えていると聞くが、非行防止の対策は。

教育次長

法令や規則に違反する行為は、毅然とした態度で指導と対応を行っている。学校では、厳重注意の

生き甲斐がある街づくりをめざして

個人質問

【健康づくり推進】

問 生活習慣病解消の健康づくりについて取り組みは。

市長

元気で安心して暮らすためには、生活習慣病や寝たきりなどを予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要であると考

誠和会

小菅 耕二



【生涯学習の推進】

問 市民の誰もが生涯を通して学び続けられる学習環境の整備をどう推進するのか

市長

市では、平成11年に策定した「八街市生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習を推進

市長

「体と心」の健康づくりとしては、メタボリックシンドロームを予防・解消するための集団健康教育、効果的に歩く方法を学ぶウォーキング講習会、がん検診や健康まつり、街の健康相談室、地域からの依頼により、保健師等による出前講座を実施しています。さらに、ノルディック・ウォークや各種講座等に参加していただき、健康を維持しつつ、自分に合ったスポーツや趣味に親しむことが、心と体の健康づくりにつながるものと考

【安全安心な街】

問 災害時、要援護者支援等の減災対策をどう推進するのか

市長

大規模災害が発生した場合の医療・救護活動については、八街市地域防災計画に基づき、対応を図る事となっております。総合保健福祉センタ

市長

本市では、「安全で安心なまちづくり条例」を制定し、警察や防犯組合等と連携した街頭啓発や自転車盗難対策指導など、防犯思想の普及活動を行っています。市内では、防犯ボランティアとして15団体、約600人の皆様が「さくら防犯パトロールネットワーク」に加盟し、活動をいただいております。今後もパトロール隊のない地域は、パトロール隊の組織化も支援を行いたいと考えています。

安全で親しみやすい街づくりについて

個人質問

誠和会

長谷川 健介



子育て環境や買い物弱者、AED設置について

個人質問

服部 雅恵



道路整備

問 市道114号線の整備の進捗状況は。

市長

川上県道との交差点改良を実施した後、市道114号線の整備を実施すること、で交差点改良について印旛土木事務所に確認したところ、平成24年度に測量、設計などに着手し、その後公安委員会と協議や用地交渉を実施していくことになります。市道側の拡張も必要となりますので、県と協議して進めたいと考えています。

各小中学校の耐震

問 各小中学校の耐震補強の状況と今後の計画等は。

教育次長

すべての小中学校の耐震診断を行った結果を受け、緊急性の高かった八街中学校校舎及び屋内運動場について、平成21年度、22年度に実施しました。現在、耐震補強が必要な学校は小学校4校で、朝陽小学校を平成24年度に実施計画、平成25年度から26年度にかけて工事を実施し川上小学校、交進小学校、八街東小学校の3校については、今後、財政状況を踏まえ平成

問 市道211号線、212号線の道路愛称を付けるという事について伺う。

市長

クリーンセンター入り口から用草、根古谷を経由し、佐倉地先に抜ける道の沿道には桜の木が植えてあり、桜の季節にはとても美しい街道です。愛称を付けることは、市民生活の基盤である

子育て環境について

問 現在の待機児童の現状について伺う。

市長

本年2月1日現在の保育園待機児童数につきましては、合計で70人となっております。

問

24年度、安心こども基金を利用して、新たな、私立認可保育園の開設が予定されているが、その概要について伺う

市長

社会福祉法人が平成25年4月に開設を予定している（仮称）開拓保育園につきま

しては、市単独でフィルムコミッションを設置することから、現在、県と協議を重ねているところであり定員は66人を予定しております。

問

八街市における児童虐待の現状と対策について伺う。

市長

児童虐待につきましては、過去3年間、受理した通告・相談件数のうち、虐待に関

買い物弱者や駅前活性化について

問 高齢者問題について今後の買い物弱者に対する対策を伺う。

市長

高齢者で買い物をする必要とする方については、ホームヘルパーによる介護保険サービス等が利用されているところですが、介護度などにより、対象とならない場合は、社会福祉協議会による在宅有償サービス「ほほえみ」事業などを紹介しております。

買い物弱者や駅前活性化について

問 高齢者問題について今後の買い物弱者に対する対策を伺う。

市長

高齢者で買い物をする必要とする方については、ホームヘルパーによる介護保険サービス等が利用されているところですが、介護度などにより、対象とならない場合は、社会福祉協議会による在宅有償サービス「ほほえみ」事業などを紹介しております。

市長

駅前活性化について今後の計画を伺う。

市長

今後の計画につきましては、本年度（平成23年度）、新

普通救命講習を受講

2月6日に議員16名が消防署から3名の講師をお招きして普通救命講習を受講しました。



山口県山陽小野田市が来市

2月1日に山口県山陽小野田市の総務文教常任委員会の8名が当市の教育行政事業評価と幼小中高連携教育を視察に来ました。



♪♪ 議 場 コ ン サ ー ト ♪♪

2月24日に実住小学校合唱部 30 名による議場コンサートを行いました。綺麗な歌声が議場内に響き渡りました。



★議長・副議長の出席報告★

【2月】

- 5日・福祉まつり
- 7日・千葉県市議会議長会研修会
- 9日・やちまた女性のつどい
- 10日・印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会

(千葉市)

- 11日・ロードレース大会

(千葉市)

- 15日・県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 18日・社会教育振興大会

【3月】

- 5日・獣魂祭
- 11日・印旛郡市少年野球大会開会式
- 27日・消防組合議会定例会

(佐倉市)

- 30日・いんば農業協同組合通常総代会
- 31日・シルバー人材センター通常総会

(四街道市)

【4月】

- 1日・野球連盟「総合開会式」

・「八街市障がい者就労支援事業所」開所式

- 8日・ソフトボール協会合同開会式

・市消防団新旧役員歓送迎会

- 15日・子ども会育成会連絡協議会総会

・橘の会 舞踊発表会

- 20日・連合婦人会定期総会

・千葉県市議会議長会定例総会

- 21日・25日・中国濰坊市表敬訪問

25日・関東市議会議長会定期総会

- 29日・雅会 チャリティー歌謡発表会

(横浜市)

(千葉市)

3月定例会議案等結果一覧

○賛成 ×反対

議案番号	件名	議決年月日	結果	各会派の賛否					
				誠和	公明	21	共産	古	桜
議案第1号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第2号	八街市特別職の職員等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第3号	八街市一般職の職員の給与等に関する条例及び八街市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第4号	八街市一般職の職員の管理職手当の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第5号	八街市税条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第6号	八街市庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第7号	八街市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第8号	八街市図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第9号	八街市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第10号	八街市簡易マザーズホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第11号	八街市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第12号	八街市長寿祝金条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	×	×
議案第13号	八街市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	×	×	○	×
	議案第13号八街市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対する修正動議	平成24年3月16日	否決	×	×	○	×	×	×
議案第14号	八街市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第15号	八街市暴力団排除条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第16号	八街市八街都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第17号	八街市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成23年度八街市一般会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第19号	平成23年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第20号	平成23年度八街市後期高齢者医療特別会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成23年度八街市介護保険特別会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成23年度八街市学校給食センター事業特別会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成23年度八街市下水道事業特別会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成23年度八街市水道事業会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成24年度八街市一般会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第26号	平成24年度八街市国民健康保険特別会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第27号	平成24年度八街市後期高齢者医療特別会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第28号	平成24年度八街市介護保険特別会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第29号	平成24年度八街市学校給食センター事業特別会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成24年度八街市下水道事業特別会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第31号	平成24年度八街市水道事業会計予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第32号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第33号	八街市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第34号	副市長の選任について	平成24年3月16日	同意	○	○	○	出席	○	○
議案第35号	平成23年度八街市一般会計補正予算について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○
発議案第1号	八街市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年3月16日	原案可決	○	○	○	○	○	○

誠和(誠和会)…… 中田 眞司、湯淺 祐徳、小高 良則、山口 孝弘、林 修三、石井 孝昭、
木村 利晴、小山 栄治、小菅 耕二、鈴木 広美、長谷川健介
公明(公明党)…… 新宅 雅子、鯨井眞佐子、川上 雄次、服部 雅恵

21(やちまた21)…… 加藤 弘、林 政男
共産(日本共産党)…… 丸山わき子、右山 正美、京増 藤江
古…… 古場 正春 桜…… 桜田 秀雄

編集後記

「議会だよりを読みました」という声を聞くたびに、市財政や道路、国保、介護など市政に対する皆さんの熱い期待を感じます。

東日本大震災は私たちに普段からの防災対策の強化、福祉の充実がいかに大切かを教えてくれました。しかし、これらの施策は一朝一夕にはできません。近い将来、大きな地震が起きると予想されているからこそ、市民の命と財産を守るための施策の充実、地域のつながりをどう強め、深めていくかが問われています。

3月議会では、厳しい財政のもとでいかに市民の暮らしを守り、期待に応える施策を実施するかが審議され、また、市民の皆さんの願い・要望を受け多くの議員から「道路の安全対策」「防災」「放射能」等についての質問がありました。

「議会だより」が市民の皆さんと行政のつながりをさらに強め、協力し合って「住みよい街づくり」ができる一助となるようさらに頑張ってまいります。

京増 藤江

●議会だより編集委員会● 委員長／加藤 弘 副委員長／川上雄次 委員／京増藤江・古場正春・小高良則・山口孝弘・林 修三・石井孝昭

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。 TEL043(443)1482